

【3月11日（木）臨時放送朝礼】

全校の皆さん、おはようございます。今日は臨時朝礼を行いました。

1週間ほど前からテレビでも、様々な報道がされているので、皆さんも知っているかもしれませんが、今から10年前。2011年3月11日金曜日。午後2時46分に、宮城県の太平洋沖を震源とする、大きな地震が発生しました。マグニチュード9.0、最大震度7という日本周辺で起きた地震としては、観測史上一番大きな地震でした。

ものすごく大きな揺れで建物が崩壊したり、巨大津波が押し寄せて一瞬で全てを呑み込んでしまったり、あちこちで火災が発生したりしました。そして、去年の12月時点で死者1万5900人、行方不明者約2525人という、多くの尊い命が奪われました。

多くの皆さんは生まれる前の出来事ですし、生まれていたとしても記憶には残っていないと思います。それでも、私たちはこの日を忘れることなく、防災について、そして命について考えていかなければならないと思います。

今日は、先日中日新聞に『記憶をつなぐ児童作文』として掲載されていた、当時宮城県の小学校3年生の女の子が書いた作文を紹介します。「ケンカ、全部あやまるね」という題です。

「ケンカ、全部あやまるね」

私は東日本大震災がおきる日の朝に お母さんとケンカをしました。
そしてあやまりもせず、怒ってわたしは、ランドセルをせおい学校に行きました。
学校も、もうおわりだ。わたしは、母はもうおこっていないと思った。
それを知りたくて、走って家にもどろうと橋の上の真ん中くらいにいたとき、
「ドシン、ドドーン」
と、大きな音がなりひびき、それと同時、大きな横ゆれがおきた。
サイレンがなり、大つなみけいほうがでた。
わたしはまっさきに家に帰ろうとした。
その時、「ダメ」と声がすると、目の前に女の高校生が立っていた。
5分後、大つなみが来て、橋はどこかへながされた。みんな学校に戻りました。
1日目はほとんどの親が迎えに来てくれませんでした。
2日目は私以外のほとんどの親が迎えに来て、帰っていきました。
3日目に、私のお姉ちゃんが迎えに来てくれて、とっても泣きました。
そのときあることに気がつきました。私はお姉ちゃんに「ねえ、お母さんは？」
と聞きました。
母は死んでしまった。
いまだにお母さんがおこっているままなのかは、わからない。
わたしは、お母さんがおこってはないと思う。
しかし、おそうしきの時、わたしは大泣きした。
母の顔を見ると「おこっている顔」をしていた。
わたしは、ゴメンネ…とつぶやいた。すると、母の顔は笑った。うれしかった。
今までのケンカ全部あやまるね。ゴメンネ…これからも笑顔でみまもっていてね
私はお母さんが見つかったから金曜日の2時46分に、ベルを鳴らしています。
そしてお母さんに「ゴメンネ」を送っています。

今から短い時間ですが、東日本大震災で亡くなった方の魂に祈りを込めて、黙とうを捧げます。合図があるまで、静かに目を閉じてお祈りしましょう。

「黙とう」（30秒）「黙とうを終わります」

巨大地震は、いつどこで発生するかもしれません。私たちの住む愛知県も数十年のうちに巨大地震が発生する確率が高いと言われ続けています。私たちも、防災対策をしっかりと、自分の命は自分で守れるよう、日頃から意識して過ごしましょう。自分の命も人の命も大切できる草平っ子でいてほしいと思います。

以上で臨時朝礼のお話を終わります。